

【地域からの事前質問に対する回答①】

担当： 企画政策部

【質問事項（題目）】

東海村の合併計画について

【質問要旨（内容）】

東海村を中心とする市町村合併の将来計画について御説明願います。

【回 答】

いわゆる平成の大合併によりまして、平成21年6月現在で全国の市町村の数が3,229から1,775に減少しております。また、茨城県内においても、85あった市町村が44となっているところです。現在は、新合併特例法により合併は推進されているところではありますが、この法律も今年度までのものとなっております。

東海村としましては、現時点では合併をせずに単独で自主自立でいこうという考えであります。まずは、分権時代における行政能力や自治能力を高めていくことが重要であり、道州制などの議論が現実化し、その後に合併の必要性が生まれてきた状況の中で判断をしていけば良いのではないかと考えております。

【地域からの事前質問に対する回答②】

担当： 企画政策部・建設水道部

【質問事項（題目）】

フローレスタ須和間団地の西側（線路側）土地利用予定及び周辺道路  
開発整備について宅地開発について

【質問要旨（内容）】

現状、フローレスタ須和間団地の西側（線路側）の土地は未開発の状態であるが、この土地は、村で開発する予定はあるのか？

また、東海駅と当団地へ繋がっている道路への防犯灯設置及び同道路が「さわの杜」団地前を通る道路に接続されるのはいつ頃の予定であるのか併せてお伺いしたい。

【回 答】

● **企画政策部**

当該地は、ご案内のとおり当初、茨城交通(株)が平成25年3月までを計画期間とし、開発の許可を受け事業を実施してきたところではありますが、諸事情により平成18年12月に、鈴縫工業(株)へ業務が継承され、現在も事業を実施している場所であります。

現在のところ、村で買収し、開発する予定もないところであります。

しかしながら、一般論で恐縮ではありますが、村として行政を推進していく中で、土地の開発が村の振興・村民の幸せの向上に役立つと判断される場合には、必要な手続きを経て民有地であっても公費を投入し買収することは行政推進の手段の一つであると考えます。

したがって、土地の買収・開発につきましては、現在及び将来の財政状況も勘案し、公費の投入に見合う村の振興・村民の幸せの向上につながるかどうかを判断基準として、これからもやっていきたいと考えています。

● **建設水道部**

小松原笠内線の県道瓜連馬渡線までの延伸整備に関しましては、フローレスタ須和間団地までを平成20年3月に供用開始し、残りの区間に村区間とひた

## 中丸小学校区

ちなか市区間があることから、両市村において早期整備に向けた協議を進めているところであります。

防犯灯につきましては、東海駅からテニスコート付近までは設置されております。一方、岩瀬電気からフローレスタ須和間団地までには村道との交差点3ヶ所のうち2ヶ所に設置されております。しかし、通学路であることや安全上、防犯灯が不足していると思われるので、設置に向けて関係機関と協議してまいります。

中丸小学校区

【地域からの事前質問に対する回答③】

担当： 建設水道部

【質問事項（題目）】

下水道工事について

【質問要旨（内容）】

中丸小学校区内の下水道敷設工事について、未計画・未実施の地域があるが、今後の実施計画をお伺いしたい。

【回 答】

東海村公共下水道事業は、全体計画面積 1,836ha のうち 1,491.3ha を県知事から事業認可を受けまして、整備推進を図っているところです。平成 20 年度末までの進捗状況ですが 1,092.8ha が整備完了し約 73.2%の進捗率となっております。

昨年 11 月に事業認可変更をいたしまして、外宿 1 区の 6 号線周辺や船場地区の笠松運動公園北側、舟石川地区の一部と村内の既存住宅を取り込み、168ha を拡大いたしました。拡大した区域につきましては、広報とうかい 12 月号でお知らせをしております。

今後の整備計画ですが、外宿 1 区の 6 号線周辺や船場地区の笠松運動公園北側、舟石川一部の家屋の集合している区域から、年次計画により整備推進してまいりたいと考えております。なお中丸小学校区の未整備となっている区域は、点在している家屋が多いことから効率的、効果的な整備手法を検討しながら推進してまいります。

※中丸小学区内未整備区域内の整備計画は、平成 25 年度以降を予定